

口絵 2 : 水文気候条件からみた小笠原諸島父島における乾性低木林の立地環境
Pictorial 2 : Hydroclimatic Conditions in Subtropical Dry Scrub on Chichi-jima Island,
the Ogasawara (Bonin) Islands



写真 1 小笠原諸島父島初寝山周辺地域の景観 .

Photo 1 Landscape of Hatsune-yama Ridge in Chichi-jima Island of the Ogasawara (Bonin) Islands.

父島の主稜線東側には初寝山を含む標高200~250 mの平坦面が広がり、さらにその東側は急峻な海食崖によって囲まれる。初寝山は小起伏平坦面の最も東側で、海食崖の直上に位置する。
(岩下広和：2001年7月撮影)



写真 2 父島初寝山周辺に分布する乾性低木林

Photo 2 The subtropical dry scrubs distributed throughout Hatsune-yama Ridge on Chichi-jima Island.

乾性低木林は小笠原諸島において父島の主稜線東側と兄島のほぼ全域にまとまって分布する。乾性低木林の群落高は0.5~8 mで、シマイスノキ、ムニンヒメツバキ、アカテツ、アデクなどにより構成される。

(吉田圭一郎：1997年7月撮影)

写真 3 初寝山観測点に設置した総合気象観測装置

Photo 3 The meteorological equipment at Hatsune-yama Point on Chichi-jima island.

1999年8月以来現在まで、父島初寝山の頂部付近(標高215 m)に設置した総合気象観測装置(クリマテック製)により継続的な気象観測を行っている。写真の気象観測装置の後ろに見える島は東島。

(吉田圭一郎：2000年2月撮影)

(吉田圭一郎・飯島慈裕・岩下広和・岡 秀一 Keiichiro YOSHIDA, Yoshihiro IJIMA, Hirokazu IWASHITA and Shuichi OKA)

